第　9回　宮城舞台技術者協会会議　議事録

日時	2020　年　10 月　14 日　18 時　00 分 ～　20 時　00 分	場所	株式会社東北共立　ラボ
議題	・「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について ・各社、各個人からの意見交換 ・協会の会議の開催について ・他の協会へのアプローチについて ・次年度の役員について		

出席者	村下弘修(I・C・Cインターナショナル)	羽田貞浩（ステージワーカー）	伊藤幸夫（東北共立）	相沢俊一（バックステージ）	渋谷昌弘(ピーエムシー)
	今野芳明(ファクトリー・K)	吉田興二(フォーバックス)	斎藤豊寿(ライティングケン)	國分秀昭(HK custom works)	山品晃彦(THE MODERN WORLD)
	中鉢典男(differ)	棟居尚(ムネスエ音響)	梅内久仁生(メイサウンド)	太田淳也	小宮芳紀
	関紀子	丹野優香			
	法人代表者、個人事業主、事務局 17名				

事決項定

■次回の会議について

○次回の開催日は、11月11日水曜日　18時から。 場所は改めて連絡いたします。

会議内容

■「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について

◎フォーバックス橋本様よりのご提案（会議内におきましても丁寧に説明できておりませんでしたので、こちらをご確認ください。）

フォーバックスさん他で加盟されている「宮城県ディスプレイ協会」が2021年2月上旬に展示会を「国際センター展示棟」にて開催することになりました。展示会の目的としては、コロナ関連の商材を一堂に集め、その商材の案内、認識、体験となります。

出展企業は、コロナ関連の商材を扱っている企業及び、コロナ関連に特化したレンタル会社が主となります。来場者は、招待者のみとなりますが、「広告代理店」「制作会社」「各施設担当者」「一般企業」となり、一般のお客様は対象外となります。

橋本さんのご提案として、「宮城舞台技術者協会の活動内容を告知する場所を設けたらいいのでは。」ということでした。

現状、使用可能スペースとしまして、3m×6m。フォーバックスさんで、準備していただく壁面に、8月に開催した、「コロナ時代のバックステージツアー」の記録写真等掲示し、来場いただく皆さんに協会の活動内容を周知していただくことを目的とし、ご提案いただきました。

暫定ではありますが、協賛金として5万円程、お支払いが必要となります。

皆さんのご意見をお聞かせください。

→ブース内で、8月のバックステージツアーで記録撮影したビデオ等を活用するのもありかと。

→詳細等はまだ決まっていないようなので、前向きに参加に向け、話を聞いていきたい。

■各社、各個人からの意見交換

○9月の仙台市定例議会において協会員に関係する意見をご紹介します

なお、以下の内容は、当協会でお願いしたものではなく、議員自らがこれまでの私達の活動を見たり、その他の方々のお話を伺った上で発信されている内容となります。

ツイッターやフェイスブック等でご存知の方もいらっしゃると思いますが、先般より協会活動にご賛同いただいている、仙台市議会議員の竹中さんが9月の仙台市の定例議会にて、私達技術者へ更なる支援策を考え、国にも求めるよう意見してくださいました。内容は以下の通りです。

会議内容

①音楽舞台に関わる技術者の現状認識を問う

②会場使用料5割⇒さらに拡大せよ

③冷暖房使用料の減免を

④市有の劇場ホールにオンライン配信用の設備を

⑤同じく会場内を抗菌コーティングすること

⑥仙台サンプラザ等、仙台が貸地している施設への配慮

⑦音楽舞台関係者に更なる支援策を考え、国にも求めること

議員活動に感謝申し上げます。

○私達も、自分達の活動を「新しい様式」で活動するために、さらに色々と考えて行かなくてはならないと思います。

先月あたりから、地元企業や各教室、学校等の公演が少しずつ再開されてきているようですが、現状、どのような状況か。それぞれ意見交換。

→ 現場での感染対策の報告

→ クラスターがでた関東近郊の施設についての話

→ 医学的に、飛松を予防する ＝ 感染を防ぐではない との話もある。マイクカバーについても慎重に扱う必要がある。消毒もきちんと行う。

→ ライブハウス等民間の施設も仙台市から半額の助成対象になっているが、主催者が申請しないといけないようである。キャパがライブハウスの規定数にしなければならない為、主催者が開催を踏みとどまっているようである。利用者が少ない為、ライブハウスも苦労されているようだ。主催者側も物販等もできないところが多いので、利益が出ないライブはやらないという方が多いようである。配信しても利益が出ないのが現状。

→ 話はそれるが、映画館は平日はキャパ半分で、飲食OK。土日は、キャパフルにして、飲食NG。というスタイルをとっているようである。

→ クラシックや演歌は100%OKになっている。特に演歌は、年配の方が多い為、開催しても集まらない。配信も、環境の整っていない方が多いのでなかなか取り組めないと聞いている。

→ 都内の歌舞伎は、スタッフ、役者全て1公演ごと入れ替えでやっているようである。

→ 以前、教育ビデオ作成について話をしていたが、どうなった？（→次年度以降にぜひやっていきたい。予算の確保と準備の時間が必要である。）

→ 今後やっていきたことなど、どしどし事務局に意見をください。思いつきでもOK。みんなで話をしていきましょう。

■協会の会議の開催について

＊定例会について、再び。意見をいただきたい。

現状：毎月第2水曜日→決定している　　これも見直した方が良いかどうか？

時間や場所も決めた方がいいと思いますか？　本日の18時開催はいかがでしたか？

→ Zoom会議を取り入れてみたらどうですか。無料だと40分。ホスト会員になると時間は関係ない。

Zoomだと参加しやすいかも。

→ Zoomと会場と併用もありではないですか。

＊せっかく作った協会なので、みんなが参加できる環境を作るのがいいという意見になりました。

＊調整さんで早く場所をお伝えして、開催人数をまとめ場所確保に努めます。

■他の協会へのアプローチについて

○主に都内にある、舞台技術者連合、日本舞台音響家協会、日本音響家協会・日本舞台監督協会、公共劇場舞台技術者連絡会、日本舞台技術安全協会、全国舞台テレビ照明事業協同組合、日本照明家協会　などなど、私達とつながる、たくさんの協会がある。

→ 前回の会議にて、葉書等でお知らせを送るというように決まりましたが、まだ取り組めておりません。申し訳ございません。

→ 情報を得るために、各協会さんに認知していただくと色々教えていただけるのではないでしょうか。

会議内容	■次年度の役員について ○今年度につきましては、立ち上げということもあり、理事に全法人の代表者、監事に個人事業主の方から3名引き受けていただいております。 当初に定款にて決めております通り、令和3年度～は、立候補を含め、法人、個人関係なく、役員をお引き受けいただければと思っております。 10月末に郵送にて文書を送付致しますので、ご記入いただきまして、ご回答いただければと思います。なお、推薦人情報は事務局のみで扱いますので、気兼ねなく立候補、ご推薦をお願い致します。